

-----編集後記-----

◇「写真で構成する一頁もの」の原稿をいろいろな方にお願ひしてきましたが、このほど第一報が石原所長より届き、さっそく今月号に掲載致しました。この原稿は、多忙なところを無理にお願ひして書いて頂いたもので、PHOTO EYE という名称も所長の提案によります。この欄に、引続きいろいろな写真が投稿されることを期待します。写真はクローズアップに限りますが、白黒印刷なので、構図の面白い画材が良いでしょう。

◇「IGC事務局ニュース」と「地質情報」の欄は、最新の情報を盛り込むために最後に入稿し、校正段階で数字の修正をしたものです。ともに、9月30日までの集計結果が示されています。

◇9月10日東京で行われた研究講演会では、地質ニュースの販売も行い、8月号は50人近い方に購入頂きました。約300人の参加者の中には購読者も多数含まれていたはずなので、この購入数はかなりの割合とみて良いのでしょう。最近、購読申し込みも増えつつあり、編集担当者としては身の引き締まる思いです。「地質情報」の欄にも書いた通り、読者からの鋭いレスポンスが当所員の認識を改めるという場合があります。ご意見等を編集委員会までお寄せ下さい。

◇最近はまだ、「学会掲示板」への掲載依頼も多く、約3分の1はこのような申し込みで構成されています。余り長いものは困りますが、掲載は無料ですのでご利用下さい。

◇4月から東京のある大学で、非常勤講師として3年生を対象に講義と実験を週一回担当することになり、最初の時間に簡単なテストをして地質学の知識の程を調べてみた。講義の参考資料にするためである。期待に反してと言うべきか、予想どおりと言うべきか、現在

の進学過程で、地(質)学は著しく軽視されているらしい。結果は惨憺たるものであった。中学や高校での教育はどうなっているのだろうか。

-----佐藤記-----

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考慮鮮明なものを出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

地質ニュース編集委員会

委員長：小川克郎
 副委員長：佐藤興平・鈴木耐元
 幹事：磯部一洋・尾上亨
 委員：三田直樹・岡村行信・三村弘二・笹田政克・小玉喜三郎・武居由之・山口靖・浦辺徹郎

事務局：総務部業務課広報係
 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
 地質ニュース編集委員会
 事務局 Tel. 0298-54-3520
 Fax. 0298-54-3533

地質ニュース	第434号 1990年10月号
	定価 ¥700 円 実費
1990年10月1日 発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	林久雄
発行所	株式会社実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒102
	Tel. (03)265-0951 (代表)
	振替口座 東京1-32466
	麹町局私書箱第21号
総発売元	株式会社実業公報社

©1990 Geological Survey of Japan
 ●本誌は東京都中央区錦八重州ブックセンター本店とつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。